

令和3年度総合教育会議について

① 開催について

- ・令和2年度と同様に、1回につき1つのテーマを議論する。
- ・知事主宰の元、学識経験者や現場の意見を踏まえて今後の施策の方向性を議論する。

② テーマの内容について

	テーマ	選定理由	時期
1	教員の人材確保について 滋賀で働く魅力ややりがい、滋賀ならではの学びを発信することで、採用試験の受験者数向上を目指し、優秀な人材の確保について議論する。	高い指導力と豊かな人間性を持った優秀な人材の確保が緊急の課題であるため。	5月
2	これからの滋賀の県立高等学校の在り方について これからの県立高等学校の在り方について、検討委員会の答申(素案)をもとに議論する。	令和3年度の取りまとめに向け、産官学が連携して検討を進めるにあたり、議論する必要がある。	7月
3	新型コロナウイルス感染症があったからこそできたこと、分かったことについて この1年間で子どもたちは学校に通うことの喜びを発見し、教職員は学校行事の在り方を見直す機会となった。この新しい知見にすまいる・あくしょんの視点を加え、これまでの価値観や仕組みの見直しについて議論する。	現場の声を聞きながら、新型コロナウイルス感染症対策を契機として、これからの子どもを育てることを社会全体で考えていく必要がある。	9月
4	I C Tを活用した教育の推進について ネットワーク環境やデバイスの整備を実施した上で、実際の授業での活用について、成果や課題等を議論する。	G I G Aスクール構想による小中1人1台端末の実際的な取組を受けて、成果・課題について議論したい。	11月

その他、緊急の場合には随時開催する。

(参考) 令和2年度総合教育会議について

令和2年度は、新たな滋賀の教育大綱のサブテーマ「人生100年を見据えた「共に生きる」滋賀の教育」の実現に向けて、重点的に取り組むべき施策について議論を行った。

- | |
|--|
| 第1回 令和2年5月13日
・臨時休業中の学びの保障等について |
| 第2回 令和2年7月28日
・令和2年度滋賀県総合教育会議の進め方について
・ICTを活用した教育の推進について |
| 第3回 令和2年9月4日
・滋賀の教育大綱に基づく取組状況について
・通常の学級における特別な支援の必要な児童生徒への指導の充実に向けて |
| 第4回 令和2年11月13日
・子どもたちの読書活動の推進について |
| 第5回 令和3年2月5日
・幼児教育と小学校教育の連携・接続
・令和2年度滋賀県総合教育会議の総括について |